

(お知らせ)



平成29年4月28日

リサイクル燃料貯蔵株式会社

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況の報告について

平成23年11月21日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の2つの事項に関し、同年12月1日に当社としての対応をご報告し、その後の対応状況については、各年度末を節目とし、毎年4月に報告しております。

この度、平成28年度の対応状況について、本日青森県へ、添付のとおりご報告いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、引き続き、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

以 上

別紙：青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について
(平成29年3月末現在)

問い合わせ先

リサイクル燃料貯蔵株式会社

広報グループ 安藤・大島

TEL 0175-25-2992

別紙

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について
(平成 29 年 3 月末現在)

平成 29 年 4 月

リサイクル燃料貯蔵株式会社

目 次

1. はじめに	1
2. 対応状況	1
(1) 県内原子力事業者間による連携強化	
(2) 訓練の充実・強化	
(3) 自主的な取り組み	
3. 終わりに	3
4. 添付資料	3
・「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)	

1. はじめに

平成 23 年 11 月 21 日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の 2 つの事項に関し、同年 12 月 1 日に当社としての対応をご報告致しました。更に、平成 28 年 4 月 28 日にその後の対応状況（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）をとりまとめ、報告しております。

この度、この報告から平成 29 年 3 月までの取り組み状況について、とりまとめましたのでご報告致します。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

2. 対応状況

(1) 県内原子力事業者間による連携強化

当社は、これまでに、平成 23 年 12 月 9 日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動などに係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：平成 28 年 10 月 24 日、平成 29 年 3 月 30 日
- ・原子力安全推進作業会：平成 28 年 6 月 22 日、9 月 29 日、12 月 20 日、平成 29 年 2 月 27 日

上記会議に基づく具体的な活動については、以下のとおり実施しております。
(詳細については添付資料参照)

<平常時における安全管理等に係る協力活動>

- ①当社による講演会「危機管理、火災防護に関する講演会」
(平成 28 年 6 月 21 日)
- ②日本原燃株式会社による講演会「安全マネジメントと防災対策」
(平成 28 年 9 月 5 日)
- ③電源開発株式会社による講演会「組織診断インタビューに見られる安全文化の現状と課題 ―化学プラントの事例を中心に―」(平成 28 年 10 月 12 日)
- ④新規制基準の対応状況に関する情報共有
- ⑤原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有

<訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動>

- ① 各社が日常的に行っている防災訓練〔個別（要素）訓練等〕の見学を実施
 - ・東北電力株式会社東通原子力発電所の緊急被ばく医療訓練
(平成 28 年 10 月 7 日)
- ②東北電力株式会社・日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有
- ③各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有

県内原子力事業者間による連携強化の活動内容は上記のとおりであり、平成 29 年度以降も引き続き、「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向け取り組んでまいります。

(2) 訓練の充実・強化

当社は、使用済燃料の貯蔵管理に万全を期すため、平成 28 年度は金属キャスクの取り扱いに関する力量の維持・向上と危機管理能力の向上を目的とした以下の訓練を実施しました。

- ①金属キャスクの取り扱いに関する訓練
 - ・キャスク取扱訓練：貯蔵訓練，検査訓練，三次蓋の取り付け訓練等
(平成 28 年 4 月 4 日他，計 4 回)
 - ・搬送台車取扱訓練 (平成 28 年 4 月 18 日他，計 5 回)
- ②危機管理能力向上のための訓練
 - ・消防訓練 (平成 28 年 5 月 20 日他，計 8 回，厳冬期対応訓練 平成 29 年 2 月 3 日他，計 2 回)
 - ・異常発生時の連絡訓練 (平成 28 年 6 月 23 日他，計 7 回)
 - ・電源喪失時対応訓練 (平成 28 年 6 月 23 日他，計 2 回)
 - ・総合防災訓練 (平成 28 年 6 月 23 日他，計 4 回)

今後も安全性向上への取り組みに終わりはないという意識のもと、訓練を計画的に実施するとともに、その結果の評価や反省・改善事項等を次回訓練に反映することにより技術・技能の維持・向上に取り組んでまいります。

(3) 自主的な取り組み

自主的な取り組みとして、以下の活動を継続して実施しました。

- ①品質保証活動の充実・強化に向けた品質監査部による業務監査の実施
- ②地震・津波等に関する新知見や研究動向などの情報収集と評価の実施

3. 終わりに

平成 23 年 12 月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。平成 29 年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に取り組んでまいります。

また、引き続き、青森県からの要請事項に基づく「訓練の充実・強化」や、「自主的な取り組み」を継続し、リサイクル燃料備蓄センターの更なる安全性向上に取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう情報公開に努め、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

4. 添付資料

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

活動項目	活動内容	備考
平常時における安全管理等に係る協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ・当社による講演会「危機管理、火災防護に関する講演会」(平成 28 年 6 月 21 日) ・日本原燃株式会社による講演会「安全マネジメントと防災対策」(平成 28 年 9 月 5 日) ・電源開発株式会社による講演会「組織診断インタビューに見られる安全文化の現状と課題ー化学プラントの事例を中心にー」(平成 28 年 10 月 12 日) ・新規規制基準の対応状況に関する情報共有 ・原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有 	次年度以降も継続実施
訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力株式会社東通原子力発電所の緊急被ばく医療訓練を見学(平成 28 年 10 月 7 日) ・東北電力株式会社・日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有 ・各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有 	次年度以降も継続実施
とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の活動計画を作成 	本計画に基づき平成 29 年度の活動を実施